

## 第6回22世紀医療センターシンポジウム開催レポート

平成23年1月21日（金）、東京大学医学部鉄門記念講堂において、東大病院22世紀医療センター、トランスレーショナルリサーチ（TR）センターとCMSI 東京大学グローバルCOEプログラム「学融合に基づく医療システムイノベーション」の共催で「産学官連携の架け橋 医薬品・医療機器開発とレギュレーション」をテーマに第6回22世紀医療センターシンポジウムが開催されました。武谷雄二病院長、入村達郎 GCOE 薬学系リーダーの開会の挨拶に続いて、TRセンター長永井良三教授と22世紀医療センター長中村耕三教授から東京大学・東大病院における先端医療開発研究の取り組みが発表されました。武田薬品工業の中岡一郎日本開発センター所長の「アジア治験、国際共同治験を用いた国内開発戦略ードラッグラグの解消を目指してー」、テルモ株式会社昌子久仁子薬事部・臨床開発部 部長の「医療機器開発の現状と課題」、内海英雄 PMDA 審査センター長の「PMDA における医薬品・医療機器承認審査への取り組みと今後」、迫井正深厚生労働省保険局医療課企画官の「イノベーションと医療保険ー先進医療制度を中心にー」をテーマにした特別講演4題とそれに引き続きディスカッションでは、木村廣道 GCOE 社会還元系リーダーの司会進行により、先端医療開発に関して「企業-アカデミア-PMDA-厚生労働省」の実務担当者がそれぞれの立場から、その取り組みや動向などについて意見を交換する活発な討論がなされました。最後に門脇孝副院長から東大病院クリニカルリサーチセンター構想が披露されました。シンポジウムへの事前参加登録者数304名、当日の参加者数284名と昨年度以上の盛会となりました。参加して下さった皆様にとって、本シンポジウムが、医療における科学技術の推進、および医薬品・医療機器・医療技術の研究開発、そしてその成果の社会的な受け皿である医療産業の振興に尽力し、新たな医療システムの構築に向け社会に発信するための第一歩となることを希望しています。 (垣見 和宏)



東京大学附属病院  
武谷雄二病院長



GCOE 薬学系リーダー  
入村達郎教授



TRセンター長  
永井良三教授



22世紀医療センター長  
中村耕三教授



パネルディスカッション

